

科目名	デッサン2				
授業形態	演習	学年	2		
開講時期	2022年度 後期	単位数	2		
担当教員	渡邊 晃一				
内容および計画	「デッサン1」で習得した基礎的技法をもとに、厳密な対象の観察による確かな表現へと展開させる。「デッサン、スケッチ、ドローイング」に関わるI（ものの見方）、M（描画材料の特性）、T（三つの術・空間表現）の重要な知識や技能を通して、造形美術の幅広さ、奥深さを学修する。				
1	オリエンテーション「デッサン」とは何か／絵画と言葉				
2	「素描」の造形要素／眼と手				
3	「素描」の材料（描くことをいかにして学ぶか）／視覚と身体				
4	「デッサン1」記憶された姿（すがた）形（かたち）／似顔絵と肖像画				
5	「デッサン2」プロポーション／漫画と絵画				
6	「デッサン3」輪郭線／肌膚（東洋）と鏡（西洋）				
7	「デッサン4」明暗／質感と量塊				
8	「デッサン5」マティエール／艶と奥行き				
9	「デッサン6」色／重い「光」と「肌」色				
10	講評会				
11	「生命形態を描く1」・・・構造と機能				
12	「生命形態を描く2」・・・動き				
13	「生命形態を描く3」・・・らせんと根源形象				
14	「生命形態を描く4」・・・人と作品を結ぶ				
15	講評会				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	「モナ・リザの教科書」	渡邊晃一	日本文教出版株式会社	978-4-536-60065-1	2021
参考書	「絵画の教科書」谷川渥監修、小澤基弘、渡邊晃一編著、日本文教出版株式会社、2001年				
成績評価					
	評価方法			割合(%)	
	1、毎回の授業成果からの総合的評価：成果点3点満点×15回＝45			45	
	2、授業内課題（提出作品）の成果点20点満点×2回＝40			40	
	3、授業外課題（制作ノート）5点満点×3回＝15			15	
上記の総合点を下記の評価基準に基づき、評価する。					
学習到達目標	知的関心をもって、意欲的に取り組み、自らの発想の能力を高め、計画的に創意工夫できる。				
先修条件	デッサン1				
実務経験	実務経験あり：1995年より福島大学（絵画研究室）に勤務し、「素描」「絵画」の講義を担当。国内外での展				

	覧会、舞台芸術等の実績多数。絵画の基礎から応用まで幅広い指導を行なっている。
その他	鉛筆（2 H～4 B）・消し具（練り消しゴム）等の描画材料を必要とする。その他、授業内で指示。